

Press Release

報道用資料

2007年2月16日

タイ自動車初期品質、5セグメントでトヨタがトップ

2006年タイ自動車初期品質調査(IQS)

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィック（本社：東京都港区、代表取締役社長：蓮見南海男、略称：J.D. パワー）は、2006年タイ自動車初期品質調査（Initial Quality Study、略称 IQS）の結果を発表した。

当調査はタイの新車ユーザーを対象に、購入後2～6ヶ月間における車両の初期品質を調べるものである。車両性能別に9つのカテゴリーに分類された不具合135項目について、実際に経験したものをユーザーに指摘してもらい、100台当たりの不具合指摘件数として算出する。単位はPP100（Problems per 100 vehicles）で、数値が小さいほど不具合指摘が少なく品質がよいことを示す。

9つのカテゴリーは「走行性能分野」、「装備品分野」、「シート分野」、「空調関係分野」、「オーディオシステム分野」、「外装分野」、「内装分野」、「エンジン分野」、「トランスミッション分野」である。7回目となる今回は2006年1月から7月の間に新車を購入した人を対象に、2006年7月から9月にかけて面接調査を実施し、3,413人から回答を得た。調査対象となったのは、10メーカーの乗用車、ピックアップ・トラック、ユーティリティ・ビークル49モデルである。

◆タイの自動車初期品質が3年連続で改善◆

タイの新車初期品質が2003年から3年連続で改善していることが今回の調査で明らかになった。2006年の不具合指摘件数の業界平均は216PP100で、2003年から14%改善している。タイで販売される新車の多くは、タイ国内で製造されている。メーカーはタイの工場において国際的な品質基準に合う、あるいはそれを越える品質を実現する努力を行っており、その結果、タイの自動車業界全体で改善が進み、消費者が品質の高い新車を購入できるようになっている。なお、カテゴリー別に見ると、業界全体で2005年に比べて最も大きく改善したのは「外装分野」（-8PP100）と「シート分野」（-6PP100）だった。

セグメント別ランキングのエントリー・ミッドサイズカー・セグメントでは、トヨタ・ヤリス（193PP100）が第1位となった。第2位はホンダ・ジャズ（197PP100）、第3位はホンダ・シティ ZX（223PP100）だった。

ミッドサイズカー・セグメントではトヨタ・カローラ・アルティス（171PP100）が第1位に入った。第2位は三菱・ランサー（173PP100）、第3位はホンダ・シビック（202PP100）だった。

ピックアップ・シングルキャブ・セグメントではトヨタ・ハイラックス・ヴィーゴ（169PP100）がトップとなり、第2位は日産・フロンティア（187PP100）、第3位は三菱・トリトン（207PP100）だった。

ピックアップ・エクステンドキャブ・セグメントの第1位はトヨタ・ハイラックス・ヴィーゴ・プレランナー（171PP100）で、第2位にはマツダ・BT-50と日産・フロンティアが入った（176PP100）。

ピックアップ・ダブルキャブ・セグメントでは、トヨタ・ハイラックス・ヴィーゴ（195PP100）が第1位で、第2位はシボレー・コロラド（221PP100）、第3位はいすゞ・D-Maxキャブ4（239PP100）だった。

不具合指摘と車に対するユーザーの満足度の関係を見ると、不具合指摘件数が少ないほど車に対する満足度が高くなっている。車に「満足」あるいは「非常に満足」と感じている人の不具合指摘件数は203PP100だったが、車に対して「普通」あるいは「不満足」と感じている人では357PP100となっている。

<株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は米国 J.D. パワー・アンド・アソシエイツの日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として1990年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。ISO9001 およびプライバシーマーク取得。会社概要や提供サービスなどの詳細は当社ウェブサイト www.jdpower.co.jp まで。

<J.D. パワー・アンド・アソシエイツについて>

ザ・マグロウヒル・カンパニーズの一部門である J.D. パワー・アンド・アソシエイツ（本社：米国カリフォルニア州ウェストレイク・ビレッジ）は、マーケティング・リサーチ、生産・販売予測、コンサルティング、教育・トレーニングおよび顧客満足度調査を実施している国際的な情報サービス企業である。数百万人の消費者からの回答をもとに品質や顧客満足度に関する調査を毎年行なっている。ISO9001 取得。

<ザ・マグロウヒル・カンパニーズについて>

1888年に設立されたザ・マグロウヒル・カンパニーズ（NYSE: MHP）は、スタンダード&プアーズ、マグロウヒル・エデュケーション、ビジネスウィーク、J.D. パワー・アンド・アソシエイツなどを通じて金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供している国際的な情報サービス企業である。世界40カ国に280カ所以上の拠点を有し、2006年の売上高は63億ドルにのぼる。詳細はウェブサイト www.mcgraw-hill.com まで。

<当調査に関するお問い合わせ先>

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション・グループ 川野、杉崎

住 所： 東京都港区虎ノ門5-1-5 虎ノ門45MTビル（〒105-0001）

電 話： 03-4550-8090

F A X： 03-4550-8151

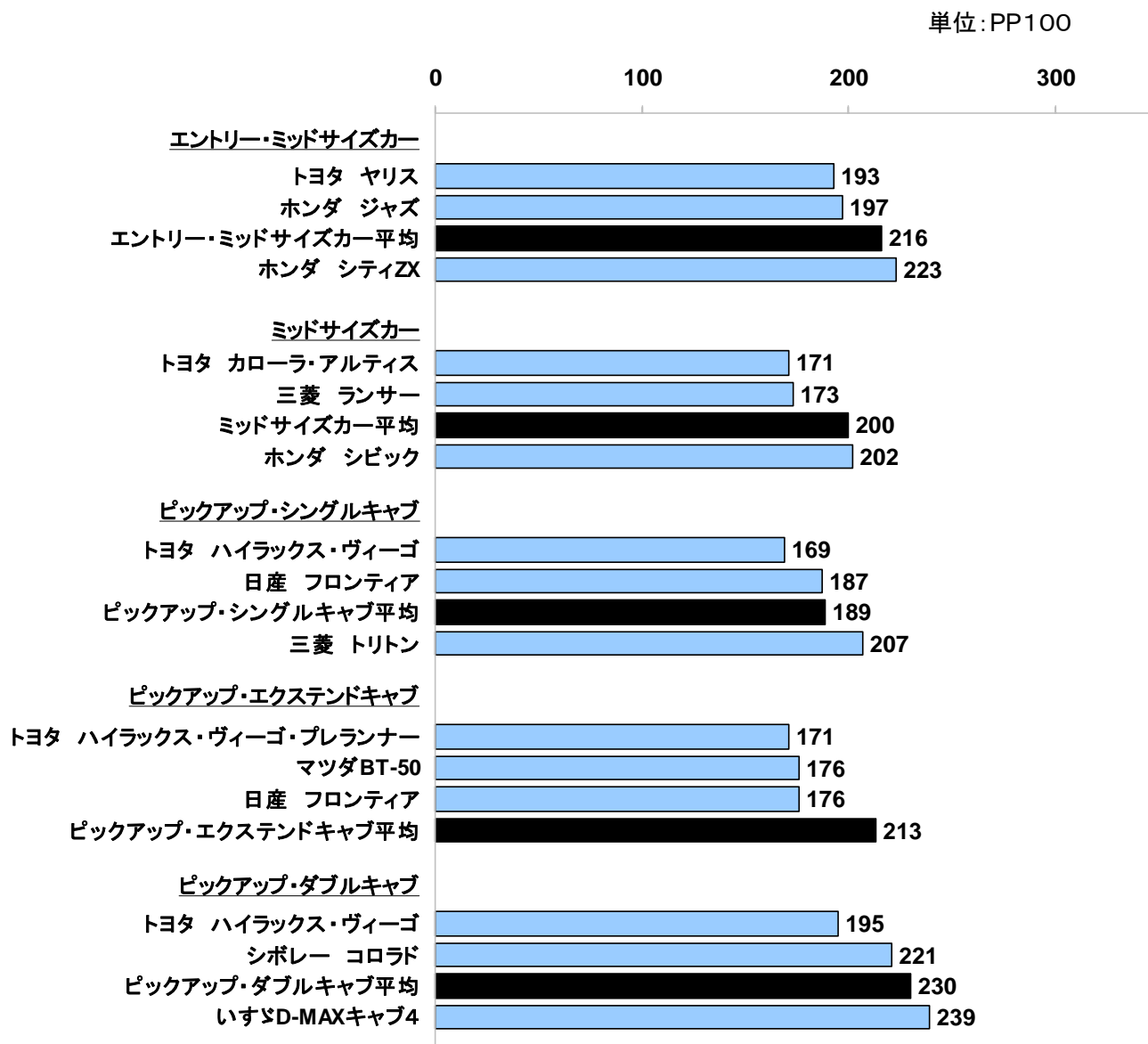
e-mail： cc-group@jdpower.co.jp

<ご注意>

本紙は報道用資料です。(株)J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

J.D. パワー アジア・パシフィック 2006年 タイ自動車初期品質調査SM (IQS)

セグメント別ランキング トップ3モデル (スコアが低いほど、不具合指摘が少ないことを示す)



注: プレミアム・ミッドサイズカー・セグメント、ラグジュアリーカー・セグメント、SUVセグメント、MPVセグメントはサンプル数不足のため、ランキングは実施していません。

出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2006年タイ自動車初期品質調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー アジア・パシフィック 2006年タイ自動車初期品質調査SM)を明記してください。